

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3891500021
法人名	医療法人 中野クリニック
事業所名	グループ・ホーム アンダンテ
所在地	東温市志津川1578-1
自己評価作成日	平成21年10月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・残存機能を維持できるよう、クラブ活動や体操を取り入れ、日々お手伝いや趣味・歩行練習等を行っている。 ・地域の方々との交流を大切にし、三味線や舞踊・音楽等のボランティアの方々に来てもらったり、季節ごとの行事に利用者の方も大変喜ばれている。 ・看護師がおり、健康面での相談が密にできる。また、病院と隣接している為、医師との連携もとりやすい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●以前からよく利用されていたホームセンターに、野菜の苗等を職員と買いに行き、ご本人が気に入ったものを植えて菜園の世話をされている方がいる。近所の片手薬師に、毎月12日にお参りすることを続けておられる方にも、職員が付き添われている。 ●天然木の床、壁、天井で木の温もりが感じられる居室の造りとなっている。窓際の長い机の上に仏壇を置き、フラワーアレンジメントクラブで生けたお花を飾っておられる方もあった。ご家族の写真、ご自分で作った木彫りの人形や習字の作品を飾っておられたり、自室で編み物をされたり、お好きなビデオを鑑賞される方や大好きな俳優のポスターを貼っておられる方もあった。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループ・ホーム アンダンテ

(ユニット名) 西ユニット

記入者(管理者)

氏 名 楠本 真代

評価完了日 平成 21年 10月 7日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
Ⅰ.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念の浸透化を図るため、職員会での話し合いや運営者（病院長）指導など機会あるごとに共通理解や具体的支援の方法について話し合い、職員一人一人の理念の認識化・具現化に努めている。	
			(外部評価) 代表者は、「地域の人を助けたい」という思いで事業所を立ち上げておられる。事業所では、「優しく笑顔のある生活・安心して、ゆとりのある生活・個々が役割を持ちその人らしい生活となるよう支援します」と理念を掲げておられる。職員全員で理念を共有して実践できるよう毎朝、職員で理念について話し合っておられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の三味線やフラダンス等のクラブ活動に積極的に働きかけ、定期演奏会などを実施し、利用者・地域住民が双方向的に有意義な交流となっている。院長や理事等が、自治会や行事など地域の会に積極的に参加し、地域住民との交流・情報の収集等に努めている。	
			(外部評価) 事業所の庭で行った花火大会には、地域の方々も多く参加して一緒に楽しまれた。母体医療機関に、事業所での行事の案内を掲示してお知らせしたり、運営推進会議でも案内されている。「地域で介護で困っている人に何かできることはないか」と考え、事業所内でのショートステイのサービスの指定を取られていた。	これまで、地域の方々に事業所に来てもらうようなことが多かったが、今後は、利用者と出かけて行き、地域の方々と交流を図っていきたいと考えておられた。さらに交流を深めて、地域に根差した事業所を目指していかれてほしい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営者（病院長）が、認知症の専門家であるため、地域住民の要請に応じてアドバイスをしている。地域住民や各団体からのホーム見学を積極的に受入れ啓発に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 地域住民、関係諸機関の識者を運営委員に選出し、年に6回開催している。実践報告・課題や改善点についての協議、情報収集、グループホームの地域への貢献などについて意見交換をし、サービスの向上に努めている。	
			(外部評価) 2か月ごとの運営推進会議には、ご家族や地域の方も参加して下さり、知り合いに声をかけてくださって輪が広がっている。パステル画やフラワーアレンジメント、折り紙等を教えに来て下さっていたり、又、三味線、フラダンス、楽器のアンサンブル演奏等のボランティアの方も来てくださり、ホームで披露してくださっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 管理者・理事などが、市の担当部署や包括センターに積極的に出かけて相談や情報収集に努めている為、協力的なネットワークが出来ている。	
			(外部評価) 市内の介護施設が順番に担当となり集まる「介護ネット」が作られており、管理者や職員も参加して同業者と交流されている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 指針をもとに、職員会や東西ユニット会議で身体拘束を再々取り上げ研修を強化するとともに、院長指導による職員への教育を徹底し、身体的拘束をしないケアに取り組んでいる。	
			(外部評価) 身体拘束をしないケアについて、何度も内部研修で取り上げ、見守り方や夜間、職員が少なくなる時間帯のみベッドの手すりに鈴を付ける等、アイデアや工夫を出し合い話し合われている。玄関の出入りやユニット間も利用者は自由に行き来されて、両ユニットの職員が見守っておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 実践において職員同士で常に身体拘束ではないか注意しあう体制が出来ている。また管理者や職員は、介護職員の接遇などの外部研修に積極的に参加し認識の深化に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 月に一度の東西ウイング会で、利用者の現状と課題についてきめ細かく意見交換し、権利擁護について適切な在り方を考えている。今後も理解と活用について職員の研修を強化して行きたい。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約前に利用予定者の面会などによる情報収集、家族のホーム見学を実施した上で、一人一人について家族と丁寧に話し合う。十分に理解・納得をいただき契約を締結することとしている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 毎月の入金時、ケアプランの説明時等の訪問をとらえて家族と話す機会を持ち、思いや願い要望等についての情報収集や改善に努めている。本外部評価結果を運営委員会やアンダンテ便りで知らせている。また、貴社から送られる家族の評価表を精査し、よりよい介護の改善に生かしている。 (外部評価) ご家族は、月に1回必ず来訪して下さるようになっており、職員が直接、ご家族にご本人の様子を伝えておられる。年数回、行事や活動報告、ご家族へのお知らせ等を載せた「アンダンテ便り」を送付しておられる。ご家族からは、利用者の生活環境や職員の教育についての感想や感謝の言葉をいただくことも多いようである。ご近所にお住まいのご家族が年数回、事業所の庭木の剪定をして下さっている。	 さらに、「お世話になっているから言いにくい」というようなご家族の心情を踏まえて、意見を引き出す工夫を重ねていかれることが期待される。利用する側であるご家族の意見や要望をきっかけにして、事業所のさらなるサービスの質の向上を目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 東西のウイング会、職員会議を月一回実施し、意見や提案を聴く機会としている。院長（運営者）が毎回出席する為、指導助言のもと、意見や提案が実現化の方向にスピーディーに進み、職員の意欲や活性化・介護の向上につながっている。 (外部評価) 職員会議（ウイング会）では、職員が「利用者がお好きな習字を楽しめるように「習字クラブ」を作ってはどうか」と提案され、「行事企画委員」で話し合い、習字のクラブを発足された。職員は、話し合いながら取り組みをすすめられており、「職員同士のチームワークがよい」と話しておられた。職員の資格取得については、法人が費用の面でも協力をされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 運営者の経営する病院・住居は、ホームと隣接している。運営者や理事は、常にホームに足を運び、職員・利用者の状況把握に努め、職員がやりがいをもって介護に専念できるよう、条件整備等にきめ細かく配慮している。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 毎月の職員会の前には管理者・理事・主任で協議、題を検討し、職員一人一人が日々の実践や課題について認識を深め、実践力を向上させるよう職員会の充実を図るとともに、職員会の貴重な研修の場として位置づけている。外部研修については、経験に応じた研修、スキルアップのための研修参加を勧めている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 市や対外機関との交流会、先進的取り組みをしている同業者への見学・指導依頼など、運営者が積極的に交渉をして、研修やネットワークづくりに努めている。管理者・計画作成担当者は、地域のケアネット会議に参加し、他事業所と交流している。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 家族や本人との事前面接会、前の利用施設。主治医に訪問や電話・文書等で情報把握に努め、安心・安全に生活していただけるような環境作り、サービス内容を検討している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前の相談及び契約説明時に利用者の生活歴、不安や疑問点、要望等について丁寧に話し合い、家族が十分に理解・納得できた上で、契約を結んでいる。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 家族や本人からの要望を実現するため、スムーズに生活できるよう入所前の生活との連続性を大切にしたサービスに努めている。特に初期のサービスについては全職員が理解して、安心安全で和やかに生活できるよう職員間での情報交換を密にして、適切な支援に努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 共に生活するということは、具体的にどうすることかを常に念頭におき、自分のよさを出して利用者一人一人が楽しく生活できるよう、介護者・家族・友達などの色々な立場から寄り添い、共に支え合う関係作りに努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 特に家族とは、相談・連絡・報告を密にしている。個々に応じてまた定期的に利用者の生活や健康状態・支援の方法などをこまめに伝えて話し合い、共に支え合う体制作りに努めている。家族の訪問は頻繁であるため、要望を聞いたり家族が知りたい情報に応えたりする機会として重視している。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族や親族、知人の訪問は多い。楽しく和やかなひと時が過ごせる場作りに配慮をしている。また、外出や外泊要望があれば、送迎・支援をしている。 (外部評価) 以前からよく利用されていたホームセンターに、野菜の苗等を職員と買いに行き、ご本人が気に入ったものを植えて菜園の世話をされている方がある。近所の片手薬師に、毎月12日にお参りすることを続けてられる方にも、職員が付き添われている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 午前・午後のいきいきタイム、レク活動、生け花やパス テル等のクラブ活動、行事等で利用者同士がかかわり 合う場をもっている。職員は東西のユニットが交流で きるよう利用者の行き来を頻繁にして、友達づくりに 配慮している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これ までの関係性を大切にしながら、必要に応 じて本人・家族の経過をフォローし、相談 や支援に努めている	(自己評価) 運営者の経営する病院への通院、訪問介護などの機会 をとらえ、必要に応じて親和的に丁寧に相談や支援に 努めている。また、要請に応じて職員も相談や支援に 応じる体制はできている。サービスの利用が終了した 利用者の家族の方にも地域住民として、運営委員会に 参加してもらっている。	
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向 の把握に努めている。困難な場合は、本人 本位に検討している	(自己評価) 利用者一人一人の人格、個性を尊重することを第一義 に、思いや願い・暮らし方の希望に添うよう努めてい る。そのため、一人一人に応じて、ケースバイケース で柔軟に対応している。職員は暮らしやすく個性的な 生活が出来るよう親身にアドバイス協力している。 (外部評価) 日々の会話やかかわりの中からご本人の思いや希望を 聞き取り、支援につなげておられる。ご家族にもご本 人のことを聞き取り、生活歴や趣味、得意なこと等を アセスメントされていた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、 生活環境、これまでのサービス利用の経過 等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族から得た情報を、ケアプランや日々の生活 支援に生かすように努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、 有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員一人一人が利用者と共に過ごし支援する中で、暮 らしの現状理解や有する力を把握して残存機能が有効 に活用できるように支援の工夫をするとともに、申し 送りや各ウイング会で適切な支援の方法を話し合い実 践に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 管理者、ケアマネージャー、職員会やウイング会、家族、及び関係諸機関等との話し合いをもとに、介護計画を立てている。計画-支援-評価-改善の過程を通して、一人一人に応じた適切な介護の提供に努めている。	
			(外部評価) 利用者個々の担当職員が、職員会議の前に個々のケアプランの内容について「継続できている点」「見直したい点」を出し、職員会議時に全職員で話し合っておられる。ご家族の来訪時等には、ケアプランへの要望をお聞きしたり、ご本人の状態によっては医師のアドバイスも採り入れ、介護計画を作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の生活やケアに関する内容は、個別記録として残し、職員間で回覧し、状況理解と支援の継続・工夫に活かしている。特に、配慮事項や小さな変化を見逃さないように注意して記録し情報を共有するとともに、迅速な伝達・話を進め適切な支援に努めている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 保育士、看護師、美容師、教員、幼児教育研究者など、多様な資格や経験をもった職員で組織されているため、それぞれの個性や力量は、利用者やの家族がニーズに応じたサービスに柔軟に対応できている。運営者は職員それぞれが実力を発揮し、豊かで特色あるサービスが実現できるよう積極的に援助をしてくれている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 運営者は、地域の住民であり、東温市、志津川町、八反地区とそれぞれ積極的にかかわり、医師としてのネットワーク、地域貢献を通じた地域住民とのネットワークを構築してくれているため、地域資源の開発・活用・協働が円滑に推進できている。地域に根ざしたホームとして、職員も更に積極的に地域に関わってきたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 運営者が病院長であり、ホームに隣接しているので、 小さな変化も細やかに報告し適切に対応できている。 また、病種に応じて病院長の医療ネットワークで各専 門医に迅速に受診できている。以前からのかかりつけ 医を受診される場合は、家族同行・職員が送迎をし ている。	
			(外部評価) 以前から母体病院にかかっていた方の入居が多い。他 の病院にかかっておられる利用者については、母体医 療機関で連絡を取って連携を図っておられる。他の病 院を希望されている方は、職員が病院の送迎をして、 ご家族が受診時の付き添いをされている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 怪我の手当てや点滴などホームで看護師による処置が できる。発熱や体調不良など看護師に伝え相談する体 制ができている。病気や心身の変化については、看護 師・院長と受診体制が整備されていることが、利用 者・家族・職員にとって安心である。	
			(外部評価) 入院先と院長が治療について情報交換をするので、経 過や見通しが分かり安心できる。退院後の受け入れ体 制や指示も的確である。管理者や職員は、再々病院を 見舞うとともに、入院先の関係者との情報交換・関係 作りに努めている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 重度化や終末期に向けては、運営者が職員会で機会あるごと に方針を話され、職員は指導を受けている。今年度も、資料 をもとに職員会で2回研修を実施した。また終末の看取りな どについては、病院長や管理者などが、本人・家族への説明 を十分に行い、安心して生活していただけるよう支援に取り 組んでいる。	
			(外部評価) 重度化や終末期のことについては、入居時にご家族に 説明をして、ご家族の意向も確認されており、その 後、状態変化時にご家族と話し合うようにされてい る。母体病院の医師である代表者が、直接ご家族に電 話で説明されたり、24時間体制でご本人の状態を管理 して下さっている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 重度化や終末期に向けては、運営者が職員会で機会あるごと に方針を話され、職員は指導を受けている。今年度も、資料 をもとに職員会で2回研修を実施した。また終末の看取りな どについては、病院長や管理者などが、本人・家族への説明 を十分に行い、安心して生活していただけるよう支援に取り 組んでいる。	
			(外部評価) 重度化や終末期のことについては、入居時にご家族に 説明をして、ご家族の意向も確認されており、その 後、状態変化時にご家族と話し合うようにされてい る。母体病院の医師である代表者が、直接ご家族に電 話で説明されたり、24時間体制でご本人の状態を管理 して下さっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急時に対応できるようガイドラインをもとに、看護師や院長指導による研修を行っている。万が一事故発生の場合は、一過性に終わらせる事なく、原因究明・改善点を明らかにして、職員会で周知徹底して再発防止に努めることとしている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 火災や地震を想定して、昼と夜の避難訓練を年に2回実施している。利用者が落ち着いて無事に訓練ができるよう、事前の打ち合わせを綿密にしている。東温市消防署に参加依頼をし、避難の仕方や環境整備について消防署員から指導助言を受けている。今後、地域住民にも協力を依頼して危機管理体制を整備したい。 (外部評価) 避難訓練実施時には、職員が事前に、ご近所の方に参加いただけるよう回られており、初参加のご近所の方も増えている。運営推進会議時、避難訓練を行った際には、参加者から「出火元の確認、天候、風向きに注意して消火活動をしなさい」といけないう「職員の皆さんがしっかりと動かれていてよかった」等のアドバイスや感想をいただいた。	利用者、職員の安全や安心のためにも職員数の少ない夜間時を想定した訓練や、いろいろな災害等も想定した訓練を重ねていかれてほしい。又、地域との協力体制等、災害時等に事業所が地域のためにできること等についても考えてみてはどうだろうか。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 人権尊重の精神に基づく介護の在り方を職員に徹底し、職員会では人格を尊重したかわりや秘密保持について具体例をもとに研修を深めている。常に利用者の立場に立った、支援や言葉かけができていないか、職員間で考え、戒め合う組織づくりに今後も力を入れたい。 (外部評価) 管理者は、「利用者の言葉を否定しない」ことに心がけ、「目線を合わせてゆっくり話す」ことを職員にも繰り返し伝えておられる。浴室と脱衣所の間はガラス張りのために、利用者の入浴時には脱衣場から廊下に出る木の扉を必ず閉めるようにされている。	浴室のガラスの配慮や居室のベッドの防水シーツの配慮等、利用者やご家族の立場に立った視点で「利用者のプライバシーを損ねない環境作り」について、この機会に点検してみようだろうか。利用者やご家族等とも相談されたり、取り組みについて報告してはどうだろうか。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) カウンセリングマインドに立ち、利用者の話を傾聴することにより思いや願いを把握し、自己決定ができるよう支援をしている。安心して自己を表出したり、話せる雰囲気作り、利用者の言動や内面を深く観察・読み解くこと等、機会をとらえて話題にしている。今後も研修の内容として取り上げたい。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者の好みや特性に配慮した活動や生活ができるよう支援を工夫している。日々の積み重ねを通して、楽しみや活動が増え、充実した生活につながるよう配慮している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 利用者の希望に応じ、理容美容関係者を招き散髪やパーマなどを行っている。気温や季節、外出などにTP0を考えた身だしなみについて、職員は利用者と相談しながら工夫している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理担当者は、利用者の体調や嗜好に配慮して、バラエティある手づくり献立を工夫している。ホームで収穫した野菜や地域の方からいただく農産物など、食材の地産地消に努め、利用者になじみある食べやすい食材・調理を工夫して喜ばれている。季節ごとの行事にあった特別献立を楽しみにしている。下ごしらえや、配膳などを手伝う利用者もいる。 「食事担当者会」を開き、利用者の希望や好み、旬の野菜や魚を使ったバランスの取れた献立を考えておられる。利用者が菜園で収穫した野菜を「採れたよ」と皆に見せ、収穫を喜んでから調理するようにされている。さばアレルギーの方にも他の利用者と同じように魚料理が食べられるように「ぶり」で代用されたり、カロリーゼロの甘味料を用いたり、野菜を多く採り入れ満腹感が感じられるよう配慮されている。食べるのが早い方に、職員はお話しながら食事に付き添っておられた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一日の水分摂取量や食事摂取量を記録し、栄養のバランスや量、体重や排便に気をつけている。個々の状況に応じて、おにぎりにしたり、トロミをつける等、食事形態を変えている。また、食べる量にも配慮し、その人に合った食事となっている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを実施している。歯科医が往診して口腔や歯の治療をしているが、その際口腔衛生については、相談・助言してもらっている。歯科医は当ホーム利用者の口腔状況は、衛生的で良いと評価してくれている。出来る方は自分で口腔ケアを行ってもらっている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			一人一人の排泄パターンを把握し、水分補給や適度なトイレ誘導により自立的排泄を促している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(外部評価)	
			昼食後、職員は「はみがきに行きましょう」と歯磨きにお誘いして、その後トイレに誘導されている様子がうかがえた。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			自分で入浴できる利用者は、本人の都合に合わせて適宜入浴しているが、踏み台などを置いて浴槽に入りやすいよう工夫している。介助の必要な利用者には、2人で入浴介助している。立位のとれない利用者の方には、入浴用の車椅子にて洗身を行うなどし、下肢に負担がかからないよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(外部評価)	
			浴室は檜の壁と天井になっており、檜の香りを楽しみながら入浴できるようになっている。お風呂を嫌がられる方には、ご本人が徐々に入浴したいような気持ちになるよう、職員の語りかけも工夫をされている。	
46			(自己評価)	
			日中生活の充実を図るとともに、就寝に向けて排泄や口腔ケア、更衣介助等をして、安心して心地よい眠りに入れるよう配慮している。昼夜逆転の様相が見られる利用者には、日中の運動量を増やしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬や服薬については、看護師や院長から連絡・指導を受けている。間違いのないよう個別に薬ファイルで確認し、服薬の介助を行っている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 菜園での野菜作り、草引きや植物への水やり、食事の準備、洗濯物干しや畳み、パステル画や書道、生け花等のクラブ活動、音楽会での独唱、行事での挨拶やボランティアへのお礼など、一人一人の生活歴や趣味生かした活動を促し、能力が発揮できるよう支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天候や気温に配慮し、ホームの庭や周辺の散歩に誘い、五感を通して自然にふれるよう働きかけている。車での外出については、外出承諾書を提出してもらいドライブを楽しんでいる。 (外部評価) ドライブやお花見等、季節ごとに外出の機会を作り、全員で出かけておられる。お花見には、多くのご家族が参加され、利用者とともに楽しいひと時を過ごされた。事業所の庭を散策されたり、駐車場にもベンチがあり、利用者数人で腰かけて日向ぼっこをされていた。	今後、事業所では利用者が地域の中に出かけるような機会を増やしていきたいと考えておられた。近くで楽しめるような地域資源の開拓等、利用者が日常的にちょっと出かけて楽しめるような場所等を探し、利用者の生活を広げていかれてほしい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理できる利用者は所持し、出張サービスの理髪料など本人が支払うようにしている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の家族は、地域住民である。多くの家族や親族が頻繁に出入りしているが、携帯電話で家族と話したり、親族や友達から手紙が届いたりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 先進国フィンランドの施設を参考に建築され、ゆったりと過ごせる明るく開放的な居住空間が創出できている。チューリップやビオラ、朝顔など花の栽培やホールの展示物など季節を感じるよう工夫している。	
			(外部評価) 駐車場から玄関に向かうと、利用者の方と一緒に育てた大きなカボチャで作ったハロウィンの飾りが飾られ、色とりどりの花々が咲いていた。羽を広げた大きな鳥のように造られた建物で、天井も高く開放的に造られている。居間でおしゃべりしたり、テレビのドラマを見ている方もいた。職員手作りの季節の絵が入ったカレンダーは、今日の日にちが分かりやすいよう、しるしが付けられていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 食堂、居間、ホールなど、ゆっくりとくつろげるようにしている。利用者は自由にその時々で気分場所を選び過ごすことができています。	
			(外部評価) 馴染みの品や好みのものを持ち込み、居心地良く過ごせるよう本人や家族の意向を受け入れている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 天然木の床、壁、天井で木の温もりが感じられる居室の造りとなっている。窓際の長い机の上に仏壇を置き、フラワーアレンジメントクラブで生けたお花を飾っておられる方もあった。ご家族の写真、ご自分で作った木彫りの人形や習字の作品を飾っておられたり、自室で編み物をされたり、お好きなビデオを鑑賞される方や大好きな俳優のポスターを貼っておられる方もあった。	
			(外部評価) 安全に配慮した居住空間、雑念を取り払ったシンプルで分かりやすい環境での生活を通して、一人一人が安全に生活する習慣、さらには分かること・できることを活かして自分らしく自立した生活ができるよう支援に努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 安全に配慮した居住空間、雑念を取り払ったシンプルで分かりやすい環境での生活を通して、一人一人が安全に生活する習慣、さらには分かること・できることを活かして自分らしく自立した生活ができるよう支援に努めている。	
			(外部評価) 安全に配慮した居住空間、雑念を取り払ったシンプルで分かりやすい環境での生活を通して、一人一人が安全に生活する習慣、さらには分かること・できることを活かして自分らしく自立した生活ができるよう支援に努めている。	